

## WS 開催概要

日時：2016年7月24日（日） 13：30～16：30

場所：豊田市役所東庁舎 7階大会議室

参加者：49名（7-9名×6班）

座長：小林正美氏（明治大学副学長）

星卓志氏（工学院大学教授）

星野裕司氏（熊本大学大学院准教授）

### 【つくるチーム】

大藪善久、足立真一、馬場睦 (NSC) 渡邊篤志 (WAO)

熊谷玄、成富文香 (stgk) 番場俊宏 (abanba)

### 【つかうチーム】

泉英明、園田聡、岸本しおり (HBP)

運営：豊田市・日建設計シビル (NSC)・ハートビートプラン (HBP)

今回のワークショップでは、つくる・つかうチームの提案内容を説明後、『東西のあり方』『各広場のつくり方』をテーマに、テーブルディスカッション方式にて議論を行いました。

主に、1.5班は毘森口の広場であるA-Bエリアについて、2.3.4.6班は矢作口の広場であるC-Dエリアについて、イメージ写真も使用しながら、どのような空間の使い方が出来るか考えました。

## プログラム

- ①ご挨拶
- ②第1回WSの振り返り／推進会議のまとめ／本日の議題
- ③星先生レクチャー
- ④つくる・つかうチームの提案内容説明
- ⑤各班ワークショップ
- ⑥各班発表
- ⑦まとめ

## WS まとめ

- ・ 駅は拡張し通り抜けを大事にし、東側を『矢作口』西側を『毘森口』とする
- ・ 西側は自然を中心に日常の風景をつくる
  - 個性のある小空間をいくつか配置する
  - 通勤通学の人にも楽しめる空間にするために民間の建物は開いていく
- ・ 東側は祝祭性をテーマとする
  - 土日はいろいろなイベントがフレキシブルに行われる空間水辺を配置
  - 平日は親子や高齢者のために日常の使い方
  - 水辺を配置／季節ごとのイベント等にも活用
  - 真っ直ぐ歩くだけではないよどみのあるオシャレなストリート
  - GAZA 前の道路に対しては今後も様々な状況を受け入れることの出来る空間とする（今後様子を見る）
  - 矢作川に向けての緑のトンネルは面白い

## 星先生レクチャー

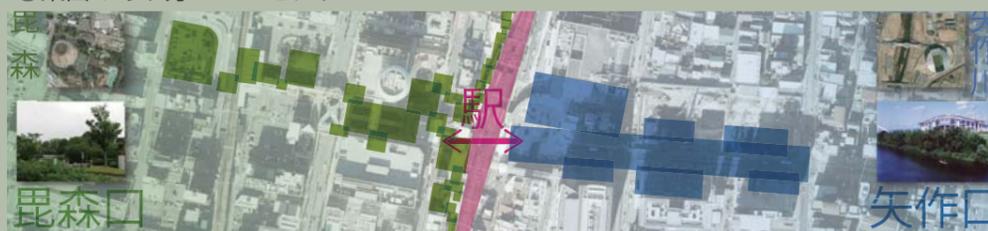
公共空間を使いこなすための官民連携における新しいまちづくりのあり方

- ・ 建物と建物の間がオープンスペースであるが、そこを質の高い公共空間とするためには、面する建物の機能や形態も一体的に捉え良い相互作用を生むようにする必要がある
- ・ 丸の内中通り、札幌、福岡天神、西新宿などの取り組みは、地元事業者等が組織するエリアマネジメント団体が中心になり進めることで成功している
- ・ 社会実験を繰り返し、道路空間を開放することで多面的な活用が行われている事例を紹介
- ・ 札幌の北三条広場では地表面より上を広場、地表面より下を道路とすることで、道路交通法の適用をはずし、管理は指定管理者制度を導入した
- ・ 地元の組織が主体的に動くことが大事であるとともに、ものが出来てから考えるのではなく、今の計画段階から担い手づくりを行う必要がある
- ・ ハード整備の手法も大事ではあるが、指定管理者に思い切って任せるといった行政側のソフトの仕組みづくりも必要になる



## つくる・つかうチームより提案内容説明

### ①東西のあり方・コンセプト



### 毘森口

利用：まちを「利用」するための場づくり

日常の使われ方

まちに「参加」するための場づくり：参加

連鎖：たくさんの「小さな広場」とそこに入り込む森

空間構成

「おおらかで一体感のある」ストリート型広場空間：連続

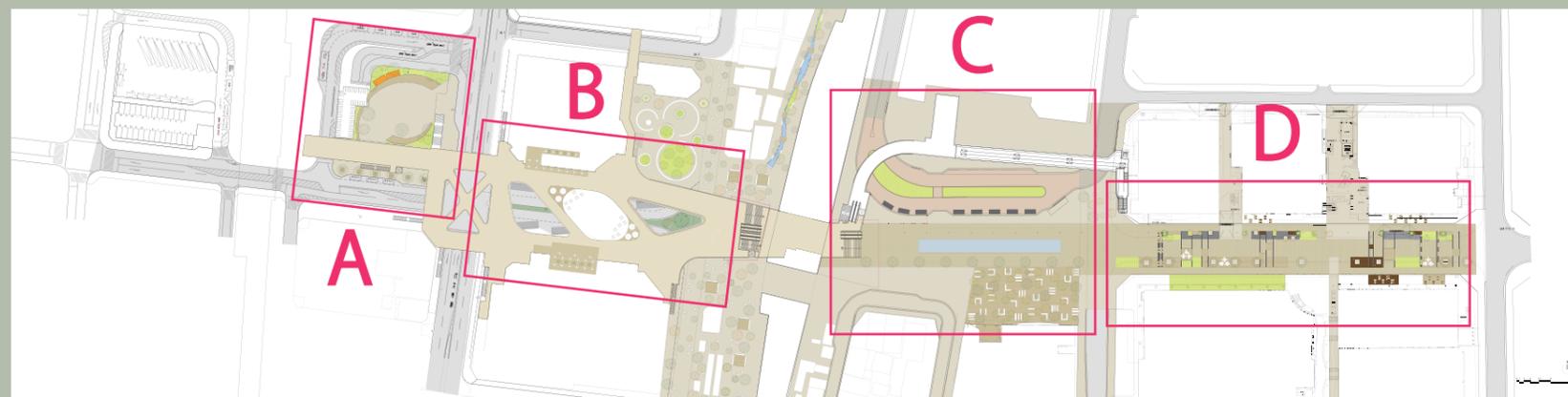
居心地：「日常」+「居心地の創造」

空間のあり方

「日常」+「祝祭性の獲得」：祝祭

### 矢作口

### ②各広場のつくり方 ～どのような使い方が出来るか／そのためにはどのような空間が必要か～



A：新豊田駅東口広場

B：豊田市駅西口デッキ

C：豊田市駅東口まちなか広場

D：駐車場線・フルモール

作りこまないハード整備を行う

官民が連携する／建物を開く

おおらかな矢作川のような空間

おおらかな矢作川のような空間

目的性の高いコンテンツと担い手

デッキ上の滞留空間をつくる

矢作口の象徴

日常とイベントでカスタマイズする空間

## Group-1



### Keywords

#### 【Aエリアについて】

- ・土があるのはこのエリアのみなので泥遊びができる場所にしたい
- ・移動販売車に対応した舗装
- ・茶畑茶室で市内外にアピールしたい
- ・鷹を使ったムクドリ対策ができるのではないかと

#### 【Bエリアについて】

- ・ファッションショーや若手アーティストの展示の場
- ・豊田産木材の使用やウッドチップ舗装など
- ・緑道を拡張したい
- ・とよたの魅力を発信できる INFOMATION センターを駅内に

### Comments

- ・場所の特徴を捉えたナチュラルな提案である
- ・地元の魅力を探して展開できることが素晴らしい
- ・建物を開いてもらうように主張していくべきである

## Group-2



### Keywords

#### 【Cエリア】

- ・豊田のシンボルとしての広場として夜間照明もかっこよくしたい
- ・常に音楽が流れているような空間
- ・池のように人が滞留できるような場所にしたい
- ・高齢者が増えていくなかで何もなくても溜まれる空間にしたい
- ・タクシー乗り場の場所を変更してほしい

#### 【Dエリア】

- ・小川みたいに人が色々なところにつづりながら流れることが出来る空間
- ・デッキ上から地上に人を降ろしたい
- ・オシャレなストリートにしたい

### Comments

- ・文化というイメージの膨らみが素晴らしい
- ・文化を軸にしていくことが出来るかもしれない

## Group-3



### Keywords

#### 【Cエリア】

- ・親子が水辺で遊んでいるのを高齢者が見守っていけるような空間
- ・フルモールは本当に必要なのか
- ・オシャレな空間をつくる上でトイレなどの基本的なものも設置する
- ・遊びのアクティビティがある箇所には日陰も必要
- ・わざわざ屋根をつけなくても建物との連動して考えていけるのではないかと
- ・車が入って来なくなるので区域外に大きな駐車場が必要
- ・とは言いつつも、とよた=車という空間はなしにしていくことも大切かも

#### 【Dエリア】

- ・歩いて過ごしやすい工夫が必要

### Comments

- ・ワンコイン健康診断など高齢者がまちの中に出てくる理由をつくるのが大事である
- ・ここまでどうやって来るのかを含めて考えられている

## Group-4



### Keywords

#### 【Cエリア】

- ・水辺を利用したい
- ・人の流れを見ることがまちの風景だと捉え GAZA 前の道路もありだと思ふ
- ・参合館前では文化施設と連動したイベントを行うのも良い
- ・参合館前には日常的に可動式の椅子とテーブルを設置したい
- ・災害時対応としての空間のあり方も考えるべき
- ・ラジオのサテライトオフィスのようなものがあってもよい⇒情報発信の場

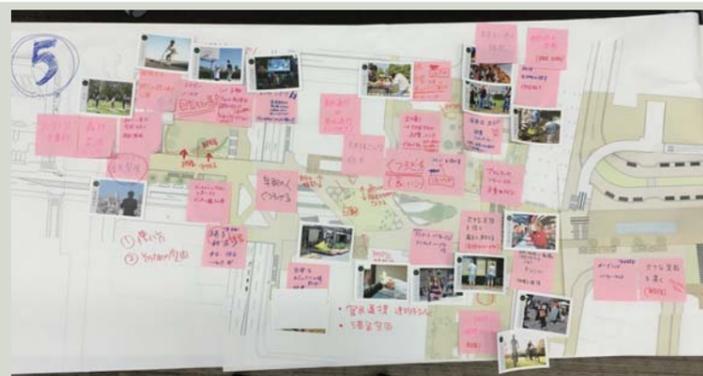
#### 【Dエリア】

- ・駅からだけではなく矢作川方面からの見方
- ・挙母まつり時以外にもイベント的に山車をだしたい

### Comments

- ・新しいモビリティが動いているだけでも豊田の顔になる
- ・ビルを見上げる楽しさとして壁そのものを利用することも出来る
- ・現状と将来の整理をきちんと行うことも大事である

## Group-5



### Keywords

#### 【Aエリア】

- ・目的性を持つ人が来るような公園にしたい
- ・ペデデッキから見下ろせるような空間/子どもが遊べる空間/野外シネマ
- ・ムクドリ対策をしても別の場所に移動してしまうのであれば、あえて森林にしてムクドリを集める

#### 【Bエリア】

- ・デッキではなくつろぎの空間を設けるとともに情報発信の場を設置
- ・CITYPLAZA では演奏会や読書などが出来る空間にしたい (雰囲気づくり)
- ・緑陰歩道沿いの北側では子どもが遊ぶ空間とし、南側にはまちなかの機能として喫煙所等も設ける

### Comments

- ・目的性のある広場にするという意見が多かった
- ・駅西は分散したものを個性豊かに使うのが強みがあると感じる
- ・朝活や夕活などライフスタイル的な使い方をするのも良い

## Group-6



### Keywords

#### 【Cエリア】

- ・駅前の階段をなだらかにすることで、子どもたちが水場で遊んでいるのを安心して見守ることの出来るスペースをつくる
- ・参合館前は図書館で借りた本を読むなど広場として充実させたい
- ・全天候でイベントを行いたい
- ・季節ごとの様々なイベントに出来るようにしたい
- ・夏はイベント対応としても広場に熱がこもらないような舗装にする
- ・Ha;mo ステーションの設置
- ・車が入って来ることのできる場所であればマルシェなども行いたい

### Comments

- ・視認性ととの兼ね合いも必要ではあるが高木の植栽で緑の軸 (キャノピー効果) を作るのもいい
- ・祝祭性や季節を意識した提案
- ・東口は行けば何かやっているようなワクワク感がある空間になり得る